# オスラー病鼻血止血ガイドブック

本書は多くの「オスラー病患者」が医療関係者により「誤った処置」「治療」「診療拒否」を受け、適切な医療を受けられていない現状を踏まえ、患者会が作成したガイドブックです。

特定非営利活動法人日本オスラー病患者会
著作：理事長 村上匡寛
E-mail info@hht.jpn.com




Team.HHT.Japan

2026年9月
Ver 3.5

# 鼻血止血用『サージセル』が2026年9月１日より健康保険適用になりました。

正式には「法的・診療報酬上の位置づけは、「医療機器」かつ「在宅で使用できる特定保険医療材料」となります。

（患者会主導でここまで承認された事は国内でも稀なものです。）

― 鼻腔内のもろい血管を守るための基礎ガイドを公開しました ―

特定非営利活動法人日本オスラー病患者会では、オスラー病（HHT：遺伝性出血性毛細血管拡張症）の患者さんやご家族が、日常生活の中で鼻出血や様々な症状に患者の目線から適切に対応できるよう、「オスラー病鼻血・基礎編ガイド」を制作しました。

オスラー病の鼻血は、一般的に想像される「単なる鼻血」とは異なります。

鼻腔内に多発する毛細血管拡張や血管奇形から出血するため、軽い刺激でも出血しやすく、長時間続いたり、大量出血につながったりすることがあります。

そのため、オスラー病の鼻血では、

**「焼かない」「強く詰めない」「粘膜と血管を守る」というソフトケアの考え方が非常に重要です。**

鼻血には次頁の解説を理解し事前準備してセルフ止血処置を行ってください。万一、60分以上止血出来ない場合には救急車要請して「サージセルと本ガイド」を救急隊員・医師に渡してください。

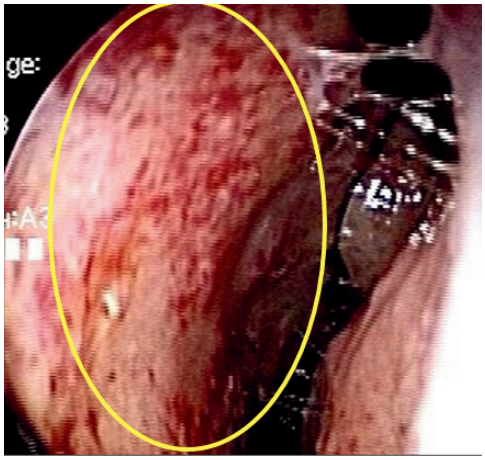
■患者向けガイド（右下ＱＲコード）・2026 年 8月作成
サージセル・アブソーバブル・ヘモスタットＭＤの患者向けガイドを十分確認し、不明な点は医師・薬剤師に確認すること

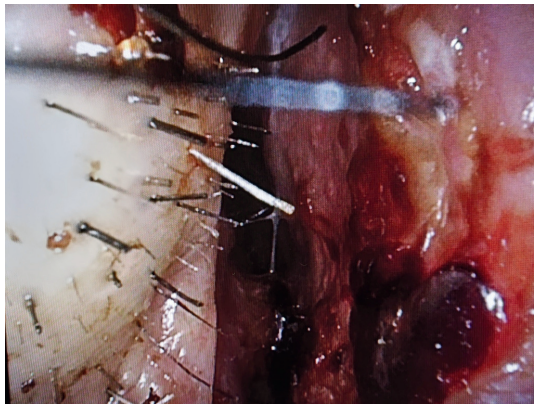
**・「鼻血止血」**
**・「鼻血・基礎編」**
**（2025.9.1更新）**

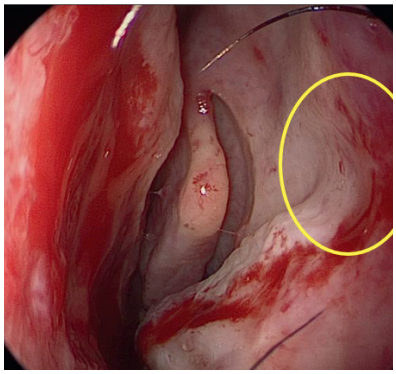
**ジョンソン・エンド・ジョンソン社**
**患者向けガイド**

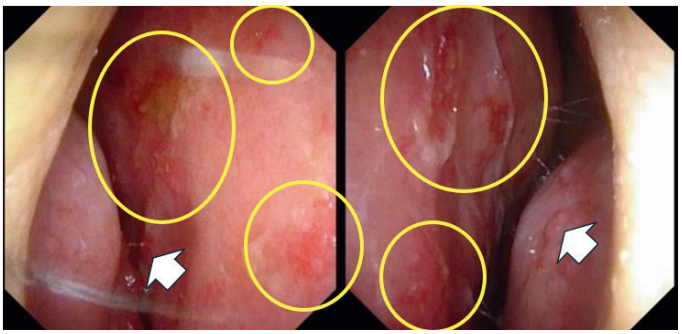
# 鼻腔内の画像

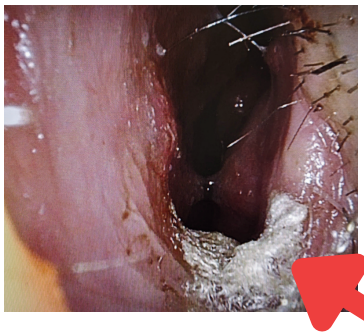
患者にもよりますが、鼻腔内の画像を見れば一目瞭然、血管拡張が多数あります。この状態に刺激（圧迫止血・電気焼灼術・ガーゼパッキング）を与えれば周りの血管が破壊されて大出血をおこします。これを理解した上で止血材を出血点にそっと当てることで止血がしやすくなります。

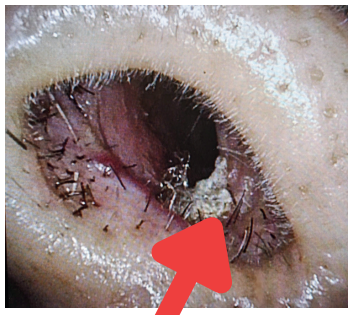




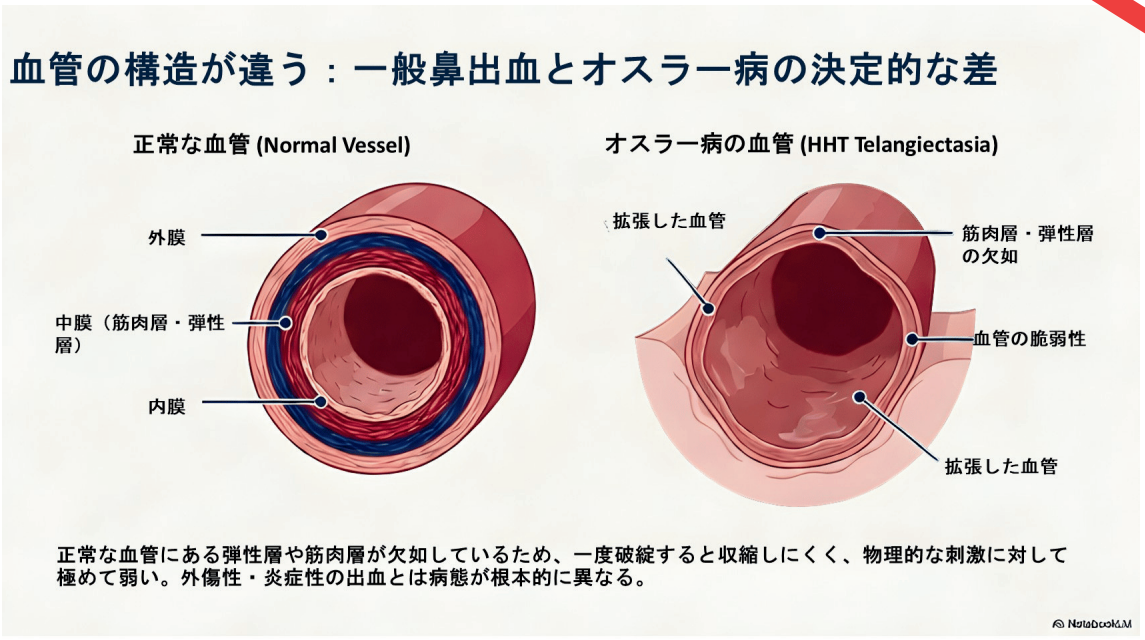








サージセル



## 準備する物

綿球No 14　20　25 推奨







各種材料は医療用滅菌製品推奨

滅菌ガーゼ　生理食塩水　綿棒

止血後用
アズノール軟膏
ワセリン















### 上級者編

今までの止血法が慣れてきた場合には、綿棒にサージセルを丸く巻いて、止血点に誘導して綿球を入れる。

### 予防編

ワセリン・アズノール軟膏・純蜂蜜・生理食塩水をスプレーなどで保湿

### その他民間療法

患者会会員サイトに記載

# サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット




## 1 サージセルコットン型（綿型）の処方を受ける

- 2.5cm×5.1cm（1インチ×2インチ）：通常
- 5.1cm×10.2cm（2インチ×4インチ）
- 10.2cm×10.2cm（4インチ×4インチ）

## 2 加工準備

綿を固めた状態になっているので
1/3～1/6程度に薄く剥がすようにする



1/3-1/5程度に剥がす作業する時は、マスクをして、
サージセルを**吸い込まない様**に十分注意すること

3

## 薄く剥がした状態の画像



4

消毒した清潔なハサミなどで
8㎜×10㎜～12㎜程度にカット又は千切る

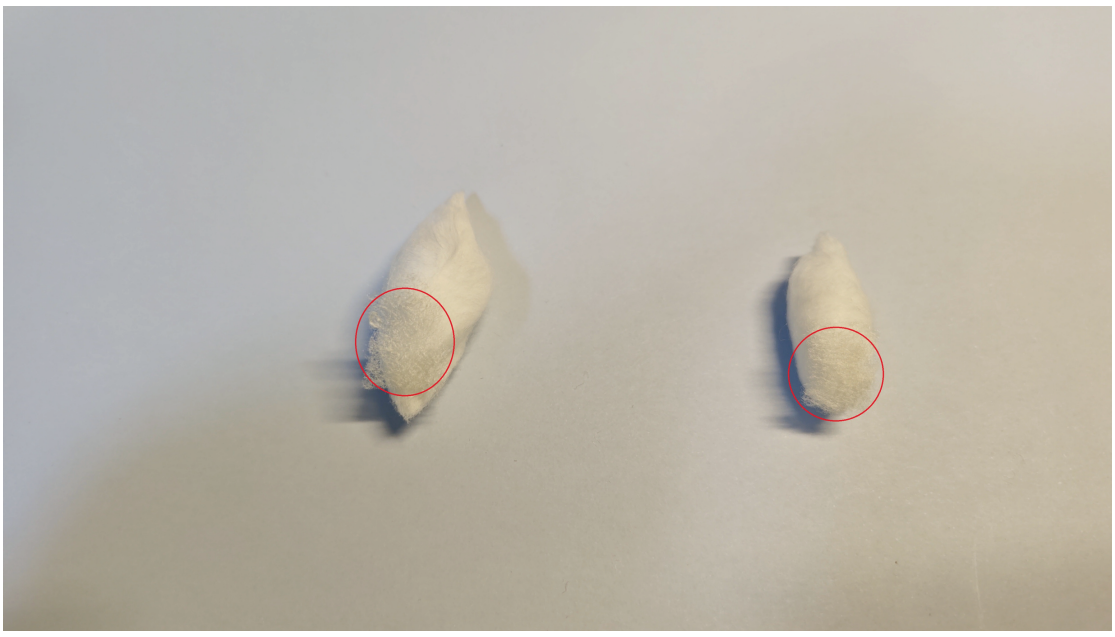


5 消毒した両手で挟み、No14No20の綿球を細長く加工してケースに乾燥剤を入れ保管



## 6 出血時

カットした「サージセル」を綿球に、軽く巻きつけるようにのせて出血点に持っていき軽く押さえる。
なお、動脈性で止血しにくい場合には、複数枚サージセルを追加する。
上手く止血出来ない場合には落ち着いて、一旦取り除きやり直す。



# そのくり返す鼻血大丈夫？




スマホカメラでQRコードを読んでください

| | | |
|---|---|---|
| オスラー病音声解説① | オスラー病音声解説② | オスラー病鼻血ケア音声解説 |
| 患者会ホームページ | 記事・情報 | 問い合わせフォーム |
| オスラー病の鼻血（患者・耳鼻科医編）Vol.4.0 | 医療施設情報 | オスラー病 セルフチェック システム |

特定非営利活動法人日本オスラー病患者会